「相続税の達人」
電子申告研修会

その1.相続税の達人と財産評価の達人の操作

東京地方税理士会データ通信協同組合

2025年10月

目次

１．「財産評価の達人」の操作

２．「相続税の達人」の操作

1.財産評価の達人

※便利な機能、よくあるご質問を中心に説明します。

1-1.作成できる帳票

1-2.基本情報の登録

1-3.評価明細書の新規登録

1-4.土地関係の明細書の作成

1-5.かげ地割合計算

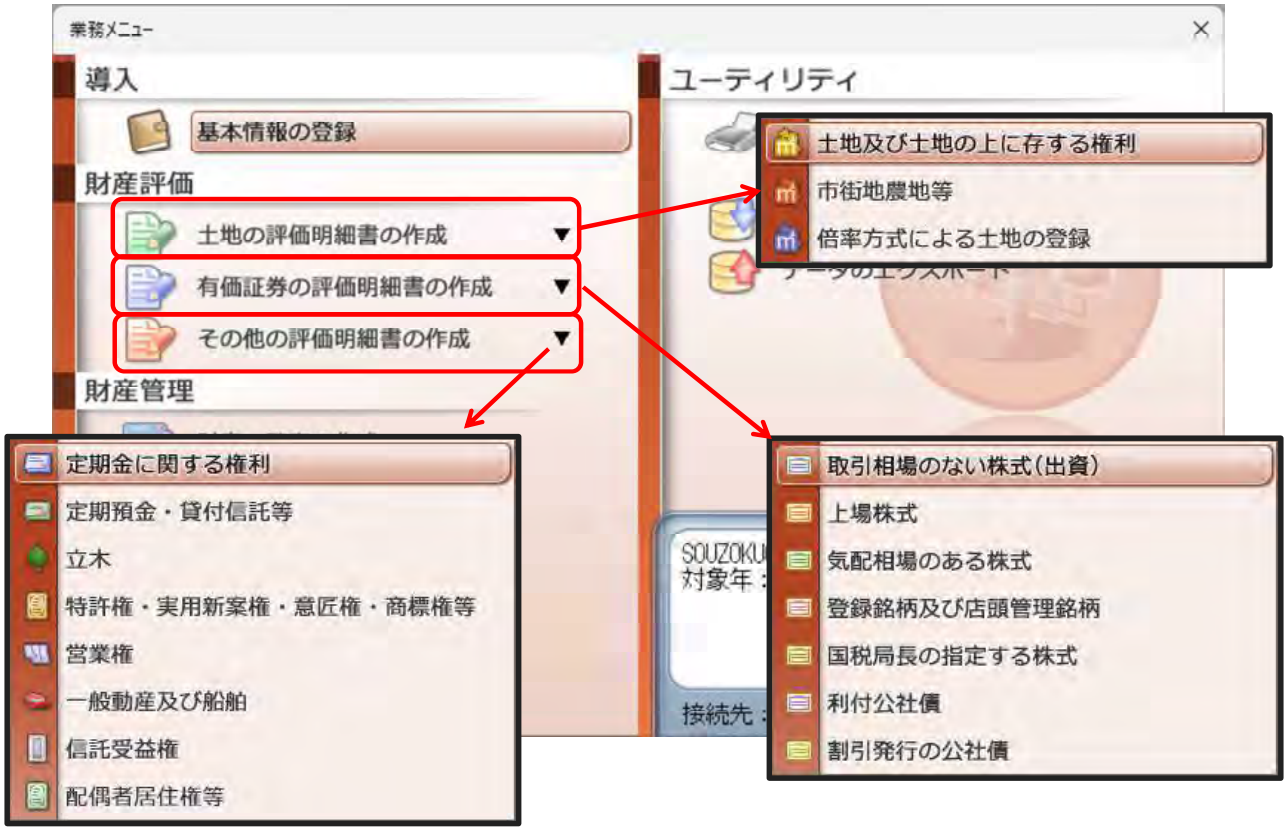
1-6.「法人税の達人」との連携

1-7.財産一覧表

1-8.相続税の達人との連動に関する修正

1-1.作成できる帳票

各種評価明細書が作成可能です。



1-2.基本情報の登録

①【基本情報の登録】をクリックして下さい。

②各項目に入力し、【確定】をクリックして下さい。

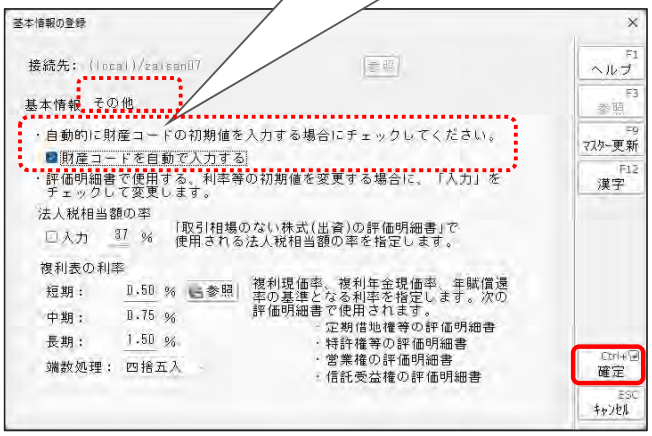
■「基本情報」タブ

被相続人の情報を入力して下さい。

データ管理の達人（事業者データベース）に被相続人の基本情報を登録している場合、【事業者一覧】から基本情報を取込できます。

■「その他」タブ

チェックを付けると、財産の新規登録時、財産コードが自動で入力されます。



1-3.評価明細書の新規登録(1)

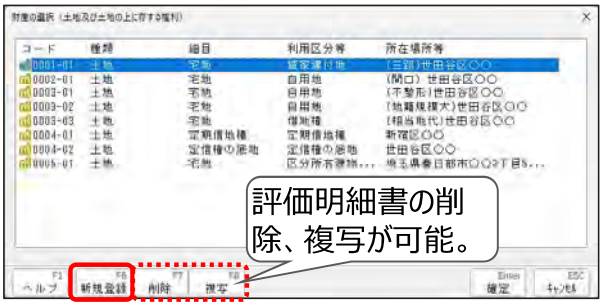
作成する評価明細書により新規登録の方法が異なります。(2パターン)

パターン１：財産の選択画面が表示される場合
(例) 土地及び土地の上に存する権利

①【土地の評価明細書の作成】⇒【土地及び土地の上に存する権利】の順にクリックして下さい。

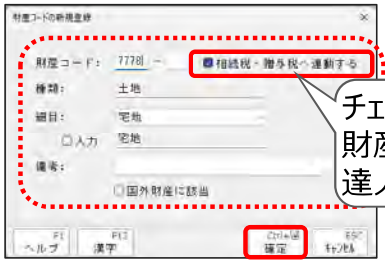
⇒財産の選択画面が表示されます。

②【新規登録】をクリックして下さい。



評価明細書の削除、複写が可能。

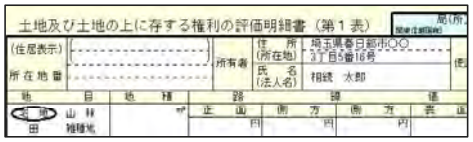
③各項目を入力、選択し、【確定】をクリックして下さい。



チェックがついている財産が相続税の達人に取込可能。

⇒評価明細書が表示されます。

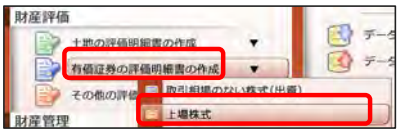
各項目を入力し、評価明細書を作成して下さい。



1－3.評価明細書の新規登録(2)

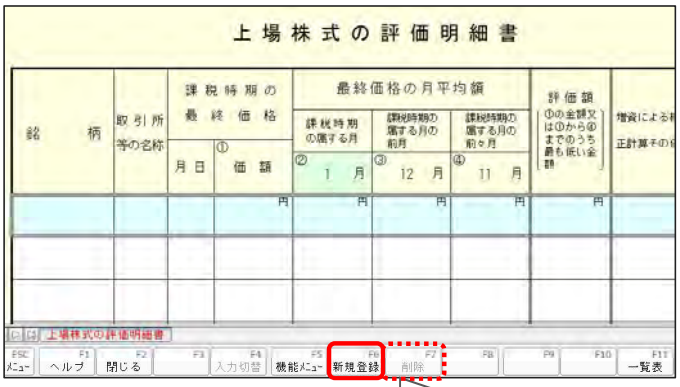
パターン２：評価明細書画面が表示される場合　（例）上場株式

①【有価証券の評価明細書の作成】⇒【上場株式】の順にクリックして下さい。



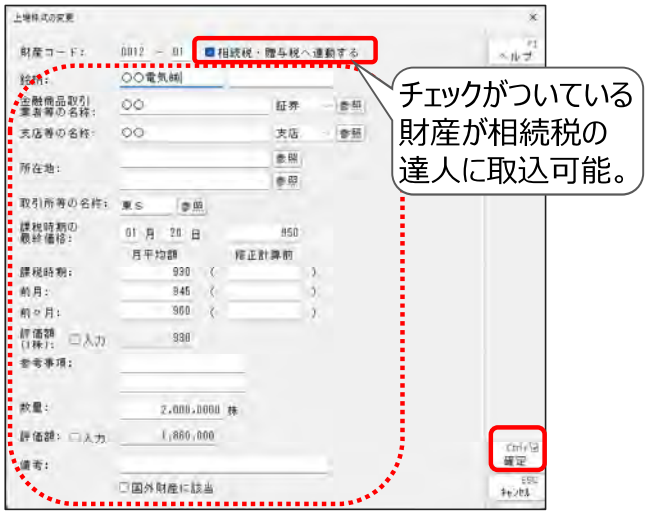
⇒評価明細書が表示されます。

②【新規登録】をクリックして下さい。

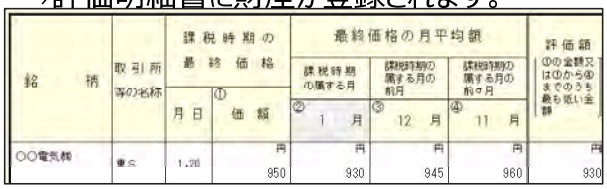


財産の削除が可能。

③各項目を入力、【確定】をクリックして下さい。



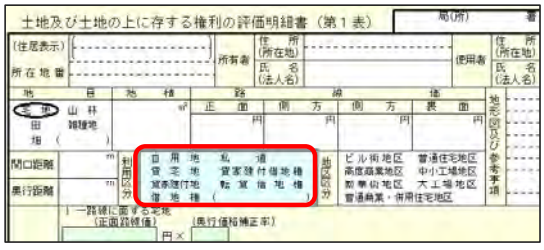
⇒評価明細書に財産が登録されます。



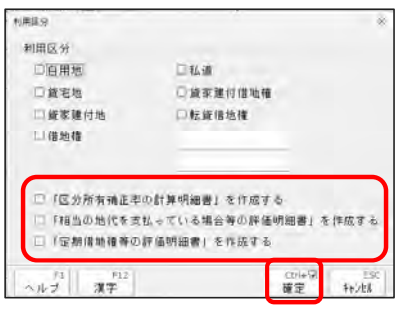
1－4.土地関係の明細書の作成

「区分所有補正率の計算明細書」「相当の地代を支払っている場合等の評価明細書」「定期借地権等の評価明細書」を作成する場合は以下の操作をして下さい。

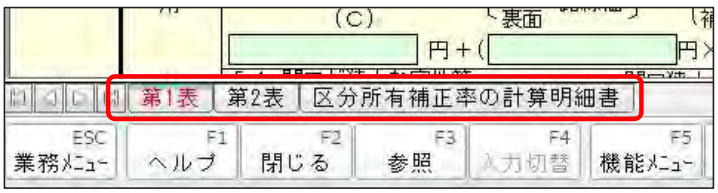
①土地及び土地の上に存する権利の評価明細書画面で、【利用区分】をダブルクリックして下さい。



②作成する明細書にチェックを付けて【確定】して下さい。



⇒選択した明細書が作成されます。
　画面下部のタブより帳票の切り替えが可能。



1-5.かげ地割合計算

・入手した公図・測量図等を基に、簡単な操作で想定整形地の自動作成及びかげ地割合の計算を行う機能です。

・計算された結果は、そのまま評価明細書に転記されます。

・オプション機能ですので、ご利用には、別途お申込みが必要です。

※詳細は別冊のマニュアルをご参照下さい。

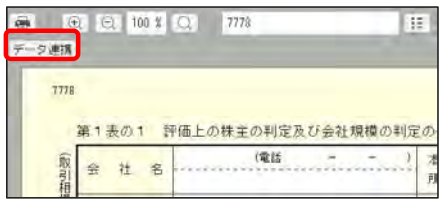
※この他に、NTTデータが作成したかげ地割合計算のマニュアルが以下にあります。

https://www.tatsuzin-cube.com/community/support/manual/pdf/TZ/ZHCOLM_IntroductionGuide.pdf

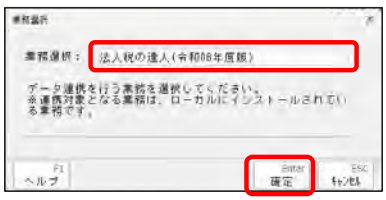
1-6.「法人税の達人」との連携(1)

取引相場のない株式（出資）は、「法人税の達人」よりデータを取込可能です。

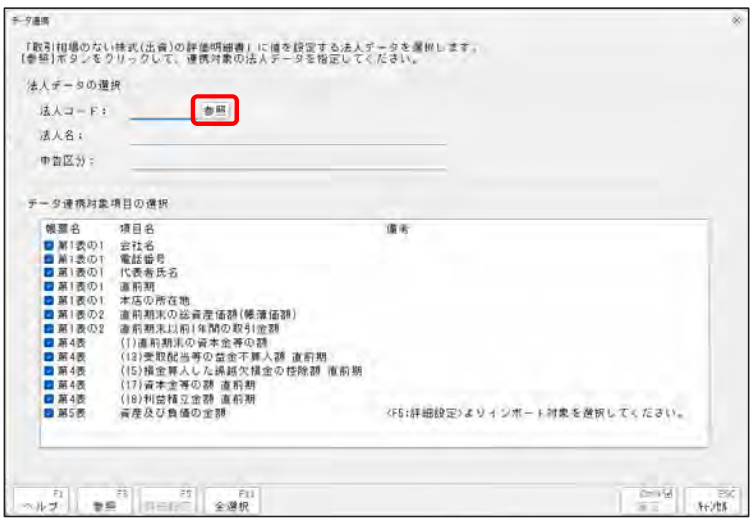
①【有価証券の評価明細書の作成】⇒【取引相場のない株式（出資）】の順にクリックして下さい。
⇒株の評価明細書画面が表示されます。
②【データ連携】ボタンをクリックして下さい。



③業務を選択し、【確定】ボタンをクリックして下さい。

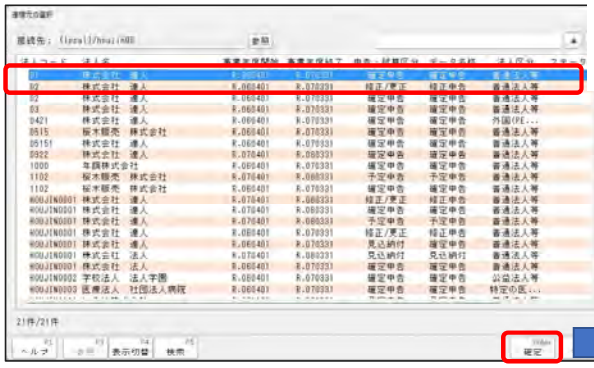


④【参照】ボタンをクリックして下さい。

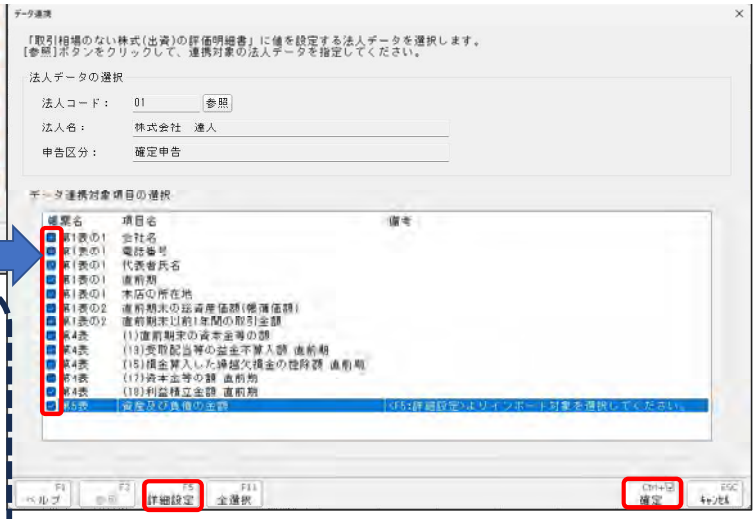


1-6.「法人税の達人」との連携(2)

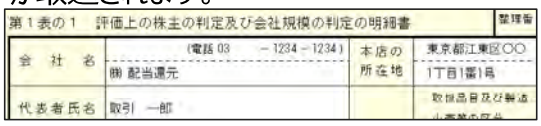
⑤取込するデータを選択し、【確定】をクリックして下さい。



⑥取込する項目にチェックを付けて、【詳細設定】で取込する科目を選択してから、【確定】ボタンをクリックして下さい。



⇒選択した項目に、法人税の達人から金額等が取込されます。



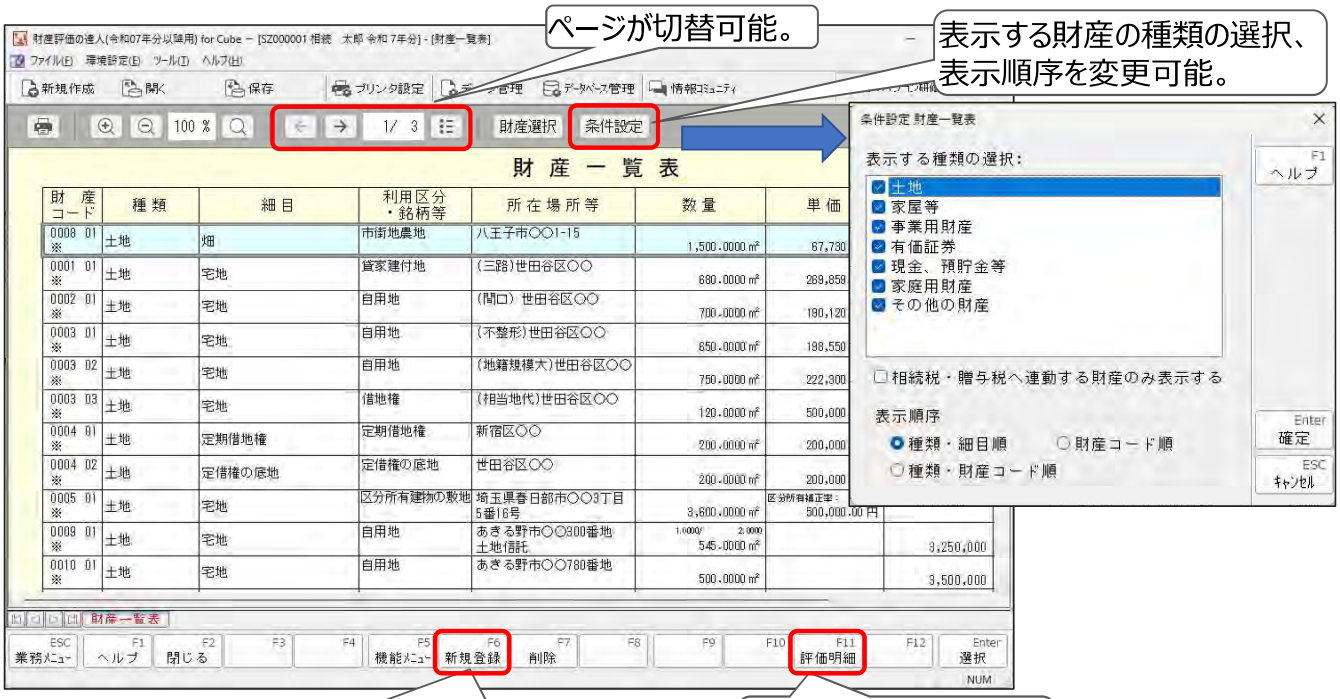
1-7.財産一覧表(1)

- 現在登録されている全ての財産が一覧表示されます。
- 財産一覧表の内容が相続税の達人に取込されます。
- 現金など評価明細書を作成しない財産は、財産一覧表から入力をして下さい。

1-7.財産一覧表(2)

①【財産一覧表の作成】をクリックして下さい。

⇒財産一覧表が表示されます。



1-7.財産一覧表（Q&A）

Q．「取引相場のない株式（出資）の評価明細書」を作成しています。有価証券の「数量」はどのように入力すればよいですか？

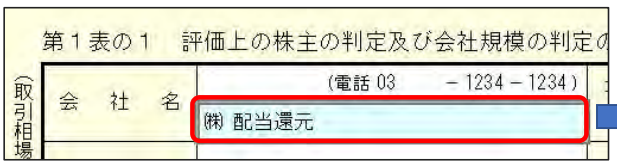
財産コード	種類	細目	利用区分・銘柄等	所在場所等	数量
0011 01 ※	有価証券	特定同族株式（配当還元）	㈱ 配当還元	東京都江東区○○ 1丁目1番1号	1,000.0000株

A．以下の手順で入力して下さい。

①「財産一覧表」画面で該当の財産をクリックして選択し、【評価明細】ボタンをクリックして下さい。

⇒該当する評価明細書が表示されます。

②会社名表示欄をダブルクリックします。



③数量を入力し、【確定】ボタンをクリックして下さい。

1-8.相続税の達人との連動に関する修正

令和6年分から相続税申告書の様式が変わり、財産評価の達人からインポートをした際、住所が連動しないなどの問題がありましたが、財産評価の達人（令和7年分以降用）で適切に連動するように修正を行いました。

◆ 第11表の付表1
土地の所在場所の入力の変更

◆ 第11表の付表2
金融機関取引業者等の名称、支店等の名称、備考の入力欄の追加

◆ 第11表の付表3
金融機関等の名称、支店等の名称、備考の入力欄の追加

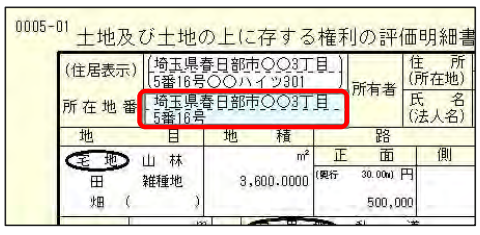
◆ 第11表の付表1～4
「国外財産に該当」チェックボックスの追加

1-8.土地の所在場所の入力（第11表の付表1）

相続税の達人に連動する所在場所等を確認・修正する画面が追加されました。

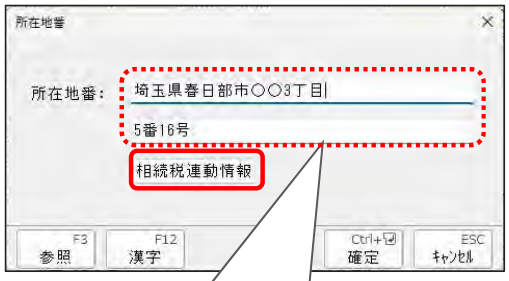
■「土地及び土地の上に存する権利の評価明細書」の場合

①「所在地番」をダブルクリックして下さい。



⇒「所在地番」画面が表示されます。

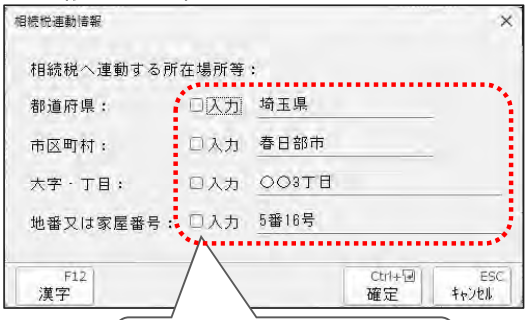
②【相続税連動情報】ボタンをクリックして下さい。



都道府県を省略すると、適切に連動しません。都道府県から入力して下さい。

⇒相続税の達人に連動する内容が表示されます。

③内容を確認し、問題があれば、入力にチェックを付けて、修正して下さい。



「所在地番」画面に入力した住所が連動します。

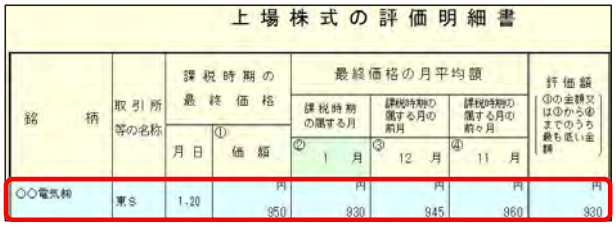
※上記以外の明細書も同様に、【相続税連動情報】ボタンより所在場所等を確認・修正することが可能です。

1-8.金融機関情報の入力（第11表の付表2）

「金融商品取引業者等の名称」、「支店等の名称」、「備考」を入力する欄が追加されました。

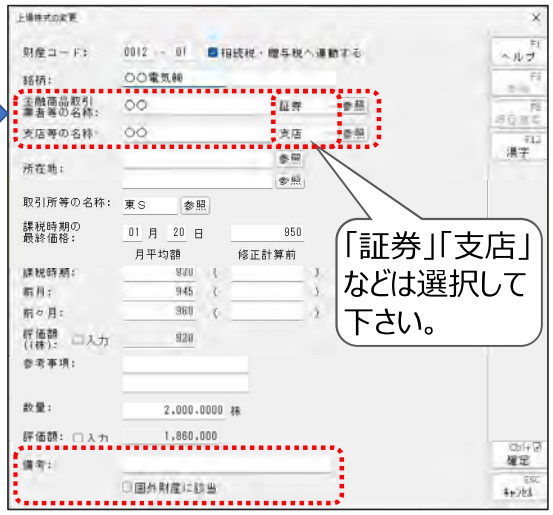
■「上場株式の評価明細書」の場合

①財産をダブルクリックして下さい。



⇒「上場株式の変更」画面が表示されます。

②各項目を入力して下さい。



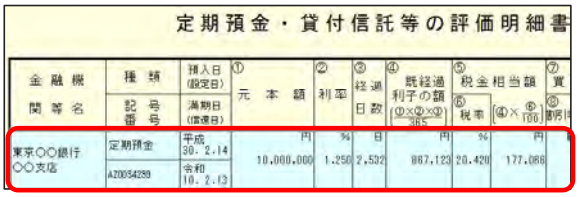
※上記以外の明細書も同様に、金融機関情報の入力個所が追加されています。

1-8.金融機関情報の入力（第11表の付表3）

「金融機関等の名称」、「支店等の名称」、「備考」を入力する欄が追加されました。

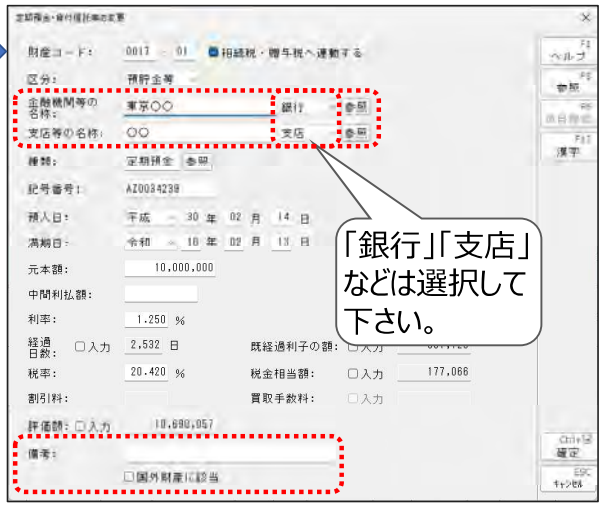
■「定期預金・貸付信託等の評価明細書」の場合

①財産をダブルクリックして下さい。



⇒「定期預金・貸付信託等の変更」画面が表示されます。

②各項目を入力して下さい。



※上記以外の明細書も同様に、金融機関情報の入力個所が追加されています。

2.相続税の達人

※便利な機能、よくあるご質問を中心に説明します。

2-1.基本情報の登録

2-2.相続人情報の登録

2-3.財産評価の達人からのインポート

2-4.贈与税の達人からの取込

2-5.財産の分割と未分割財産のあん分

2-6.小規模宅地の登録

2-7.分割案の作成

2-8.申告書その他（第11表の付表（Q＆A）、第1表、第15表）

2-9.納付書

2-10.税務代理権限証書

2-11.業務エラーチェック

2-12.一括印刷（補助資料）

2-13.遺産分割協議書

2-14.修正申告書／更正の請求書の作成方法

2-1.基本情報の登録(1)

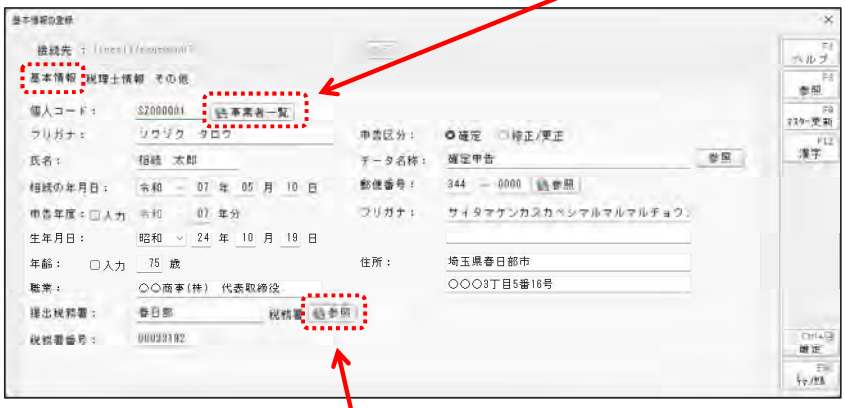
①【基本情報の登録】をクリックして下さい。

②各項目に入力し、【確定】をクリックして下さい。

■「基本情報」タブ

被相続人の情報を入力して下さい。

データ管理の達人（事業者データベース）に被相続人の基本情報を登録している場合、【事業者一覧】から基本情報を取込できます。



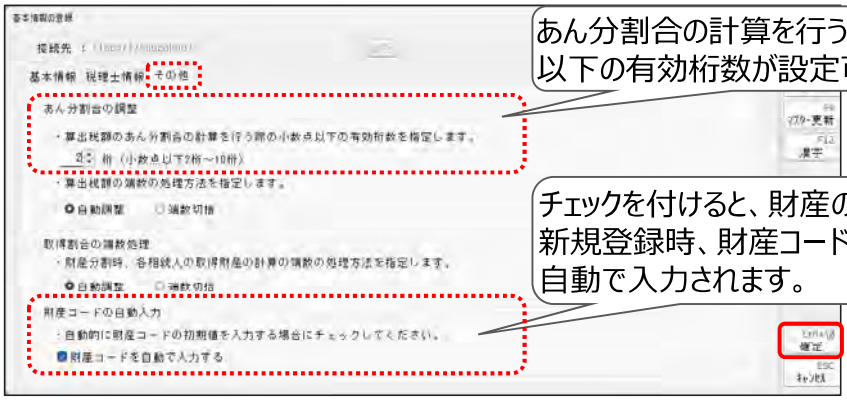
【参照】から税務署を選択すると、税務署番号も連動します。

2-1.基本情報の登録(2)

■「税理士情報」タブ

達人Cubeに登録した税理士情報を取込可能。

■「その他」タブ



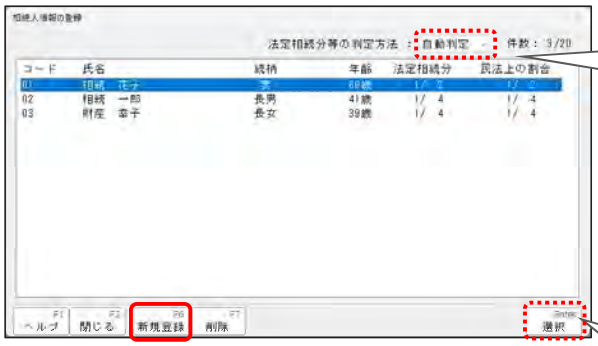
あん分割合の計算を行う際の小数点以下の有効桁数が設定可能。

チェックを付けると、財産の新規登録時、財産コードが自動で入力されます。

2-2.相続人情報の登録(1)

相続人の情報を登録して下さい。相続人は20人まで登録可能です。

①【業務メニュー】⇒【相続人情報の登録】をクリックして下さい。
⇒「相続人情報の登録」画面が表示されます。
②【新規登録】をクリックして下さい。



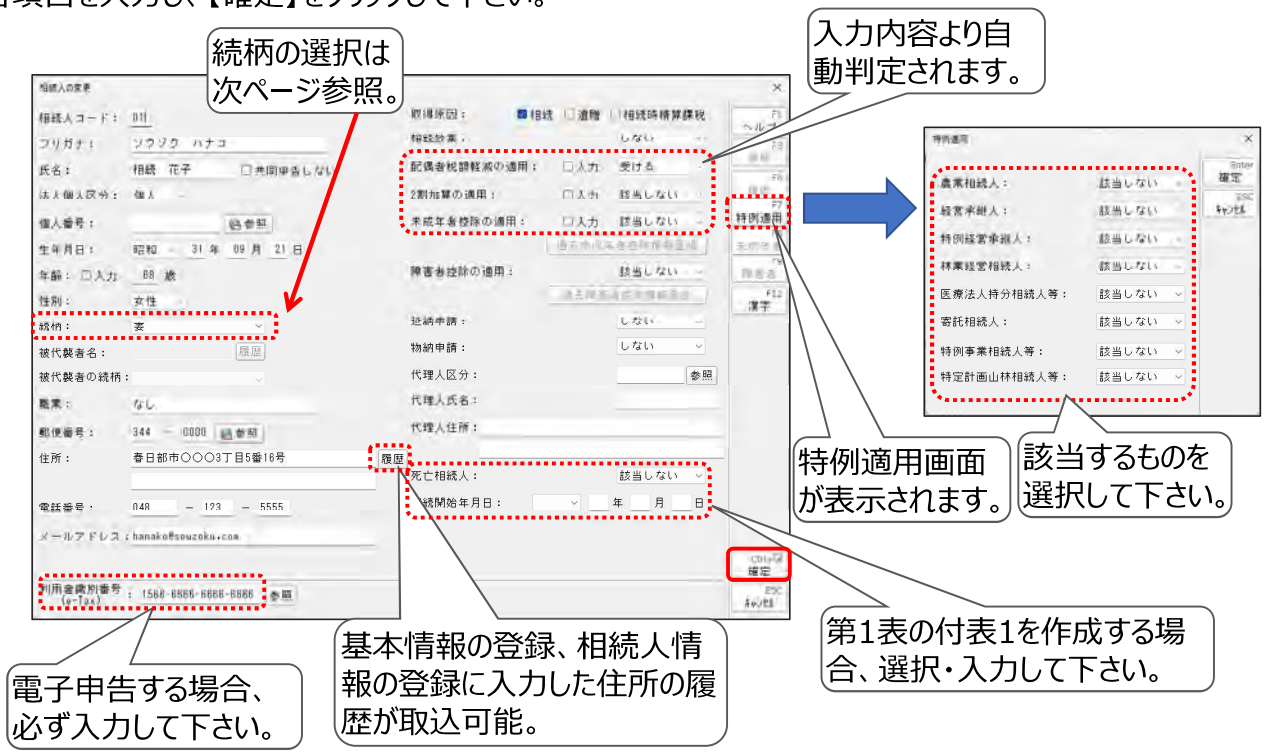
法定相続分等は、自動判定可能。

相続人情報を参照、変更します。

⇒「相続人の登録」画面が表示されます。
説明は次ページ参照

2-2.相続人情報の登録(2)

③各項目を入力し、【確定】をクリックして下さい。



2-2.相続人情報の登録（続柄）

相続税の達人の【F1ヘルプ】からこの内容は確認可能です。

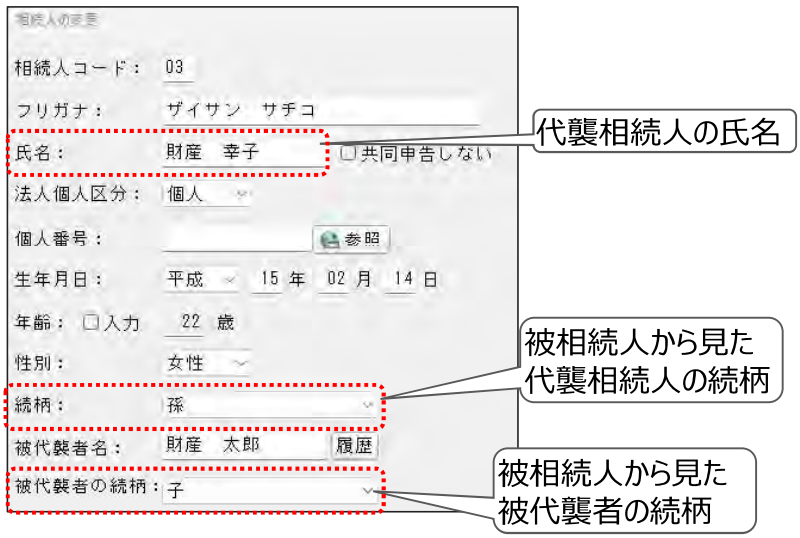
続柄	備考
・夫　・妻	配偶者を選択します。
・長男　・二男 ・三男　・四男 ・五男　・長女 ・二女　・三女 ・四女　・五女 ・子　・養子(実子扱い) ・養女(実子扱い)	実子を選択します。 次のいずれかに当てはまる人は、実子として取り扱われますので、 養子(実子扱い)又は、養女(実子扱い)を選択します。 ・被相続人との特別養子縁組により被相続人の養子となっている人 ・被相続人の配偶者の実子で被相続人の養子となっている人 ・被相続人と配偶者の結婚前に特別養子縁組によりその配偶者の養子となっていた人で、 被相続人と配偶者の結婚後に被相続人の養子となった人 ※申告書上は"(実子扱い)"は表示されません。
・養子(直系卑属) ・養子(直系卑属以外) ・養女(直系卑属) ・養女(直系卑属以外)	養子を選択します。 養子(直系卑属)、養女(直系卑属)はいわゆる孫養子の際に選択します。 2割加算の判定に用います。 ※申告書上は"(直系卑属)"等は表示されません。
・父　・母 ・養親	直系尊属を選択します。 異なる親等の人が存在する場合は、被相続人により近い世代を優先します。
・兄(全血)　・弟(全血) ・姉(全血)　・妹(全血) ・兄(半血)　・弟(半血) ・姉(半血)　・妹(半血)	兄弟姉妹を選択します。 両親を同一とするか否かで区別をして選択します。 ※申告書上は"(全血)"等は表示されません。
・孫　・甥　・姪	代襲相続が発生する場合に、直系卑属を選択します。
・祖父　・祖母	直系尊属を選択します。異なる親等の人が存在する場合は、被相続人により近い世代を優先します。
・その他	『法定相続分等の自動判定モード』では"その他"は使用できません。

2-2.相続人情報の登録（Q＆A）

Q：代襲相続の入力方法を教えて下さい。

A：相続人の［氏名］は「代襲相続人の氏名」、［続柄］は「被相続人から見た代襲相続人の続柄」、［被代襲者の続柄］は「被相続人から見た被代襲者の続柄」を登録して下さい。

■「相続人の登録」画面



2-2.相続人情報の登録(3)

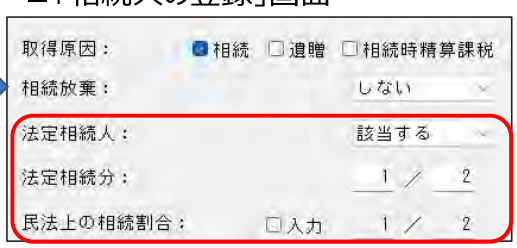
次の場合は自動判定に対応しておりません。直接入力を選択して下さい。

- **被相続人の養子が被代襲者となるパターン**
- **身分関係が重複する相続人が存在するパターン**

  例）被相続人の孫が、被相続人の養子となっている際に、被相続人の子が相続開始前に死亡している場合
- **再代襲相続が発生するパターン**

・直接入力にした場合、相続人の登録画面で、法定相続人の該当有無、法定相続分は手入力して下さい。

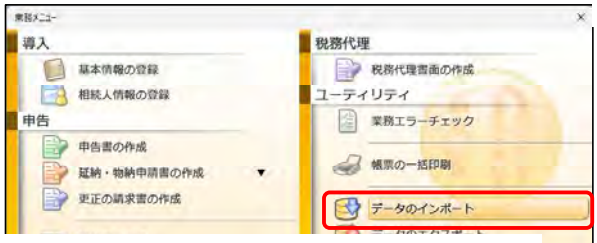
■「相続人の登録」画面



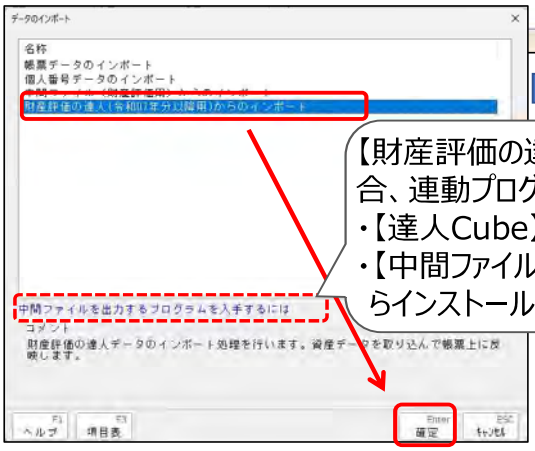
2-3.財産評価の達人からのインポート（1/3）

第１１表の付表１～4に財産を登録して下さい。
財産評価の達人に登録した財産を取込することができます。

①【データのインポート】をクリックして下さい。

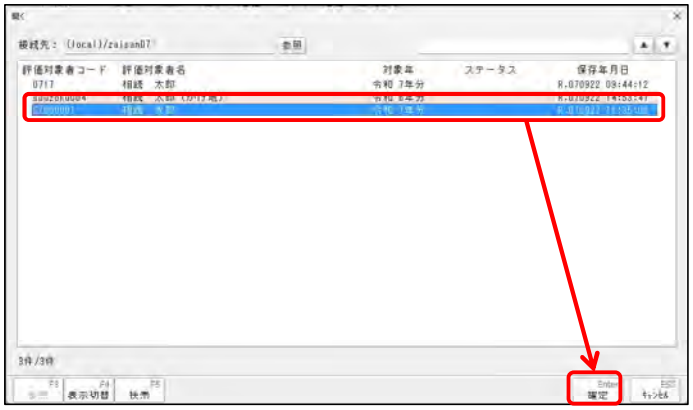


②【財産評価の達人からのインポート】⇒
【確定】をクリックして下さい。



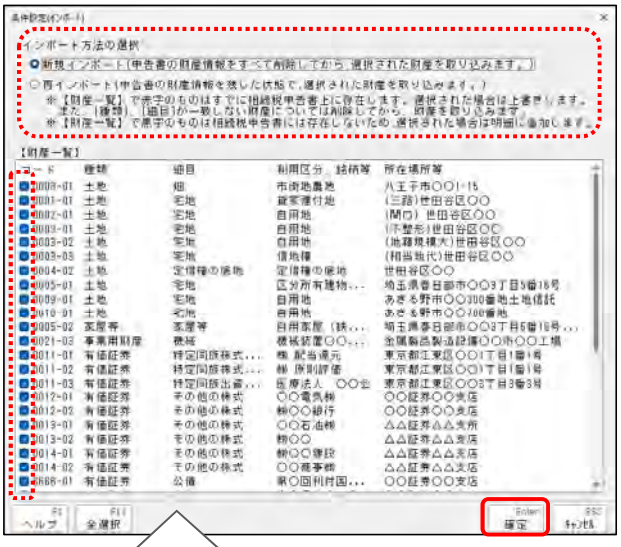
【財産評価の達人からのインポート】が表示されない場合、連動プログラムをインストールして下さい。
・【達人Cube】⇒【アップデート】⇒【データ連動】または
・【中間ファイルを出力するプログラムを入手するには】からインストールできます。

③取込するデータを選択し、【確定】をクリックして下さい。



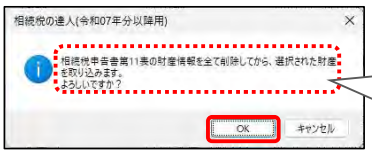
2-3.財産評価の達人からのインポート（2/3）

④インポートの設定を行い、【確定】をクリックして下さい。



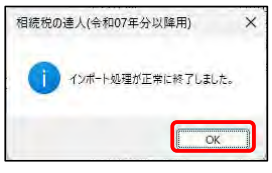
※設定方法は次ページ参照。

⇒「確認」画面が表示されます
⑤【OK】をクリックして下さい。



④の設定により表示される文言は異なります。

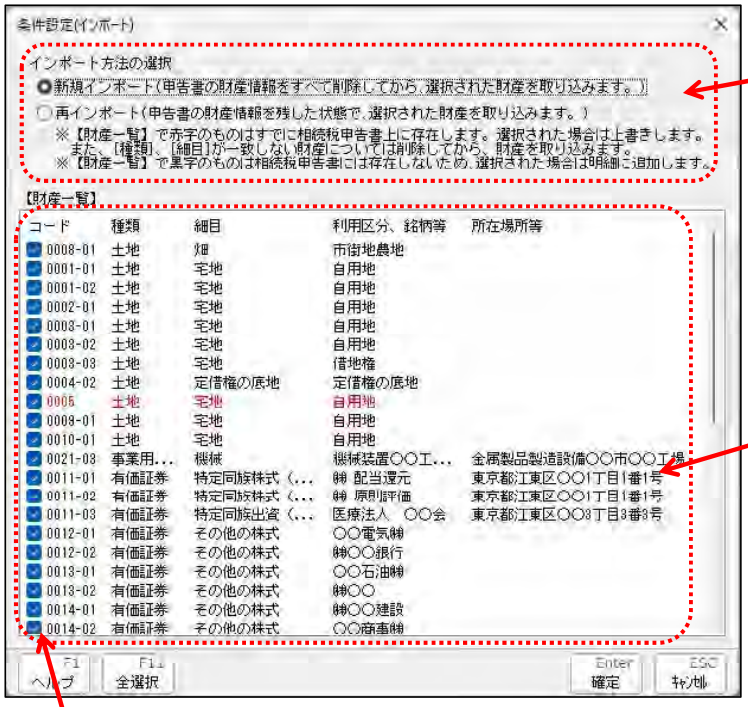
⑥【OK】をクリックして下さい。



⇒財産評価の達人に登録した財産が、
第11表の付表1～4に取込されました。

2-3.財産評価の達人からのインポート（3/3）

■「条件設定（インポート）」画面



【新規インポート】 第11表の付表に登録済みの財産情報をすべて削除してから、財産評価の達人の財産一覧表の情報を取込します。
【再インポート】 第11表の付表に登録済みの財産情報を残した状態で、追加及び修正した財産をインポートする時に使用して下さい。

・財産はコード番号で判定しています。そのため、第11表の付表に直接入力した場合のコード番号にご注意下さい。
・赤字の財産は第11表の付表に登録済みの財産です。
・黒字の財産は第11表の付表に登録されていません。財産が追加されます。

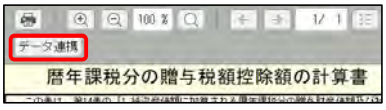
取込する財産にチェックを付けます。

2-4.贈与税の達人からの取込

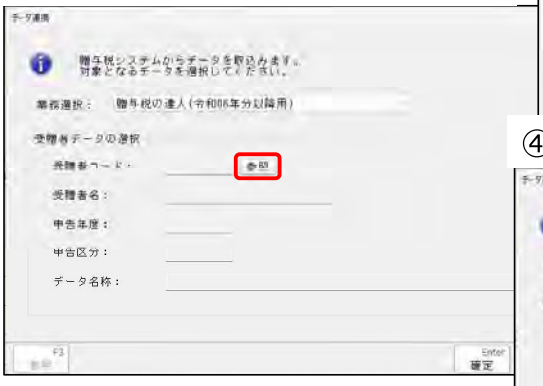
贈与税の達人に入力した贈与の情報を第4表の2、第11表の2、第14表に取込することができます。

■例「第4表の2」の場合

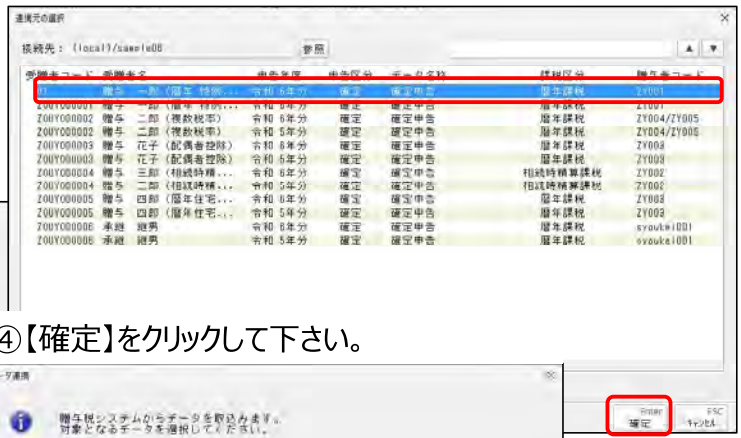
①【データ連携】をクリックして下さい。



②【参照】をクリックして下さい。



③取込するデータを選択し、【確定】をクリックして下さい。



④【確定】をクリックして下さい。

⑤【OK】をクリックして下さい。

⇒贈与税の達人から取込されます。

第11表の2、第14表も同様の手順で取込可能です。

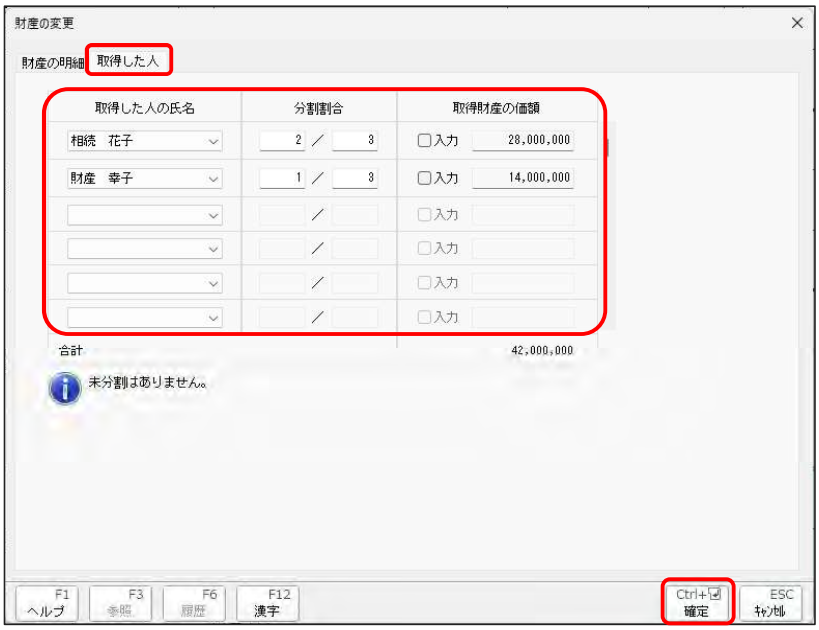
2-5.財産の分割（個別分割）

第１１表の付表１～4に財産を入力したら、財産を分割して下さい。分割は、個別分割（財産毎に分割する方法）と一括分割（複数財産をまとめて分割する方法）があります。

■個別分割（財産毎に分割する方法）

①分割したい財産をダブルクリックして下さい。

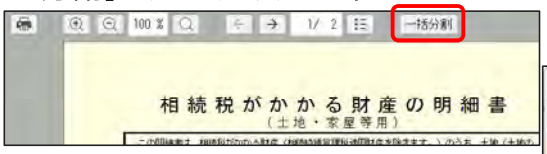
②「取得した人」タブをクリックし、取得した人の氏名を選択、分割割合を入力し、【確定】をクリックして下さい。



2-5.財産の分割（一括分割）

■一括分割（複数財産をまとめて分割する方法）

①第11表又は第11表の付表1～4画面で、【一括分割】ボタンをクリックして下さい。



②分割する財産にチェックを付けて、所得した人の氏名を選択、分割割合を入力し、【実行】をクリックして下さい。

分割済み財産の分割が解除できます。

選択した財産にジャンプします。（申告書画面に切り替わります）

⇒複数の財産が一括で分割されます。

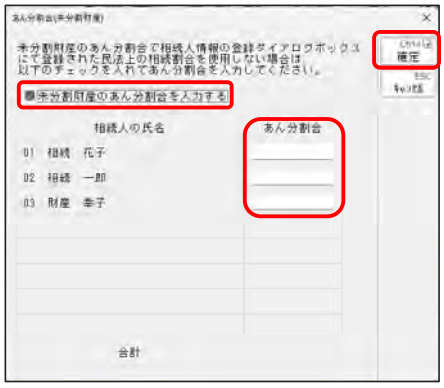
2-5.未分割財産のあん分

・未分割財産がある場合、自動であん分されます。（民法上の相続割合であん分）

■あん分割合を任意の割合に変更する方法

①第11表⇒【あん分割合】をクリックして下さい。

②「未分割財産のあん分割合を入力する」にチェックをつけて、あん分割合を入力し、【確定】クリックして下さい。

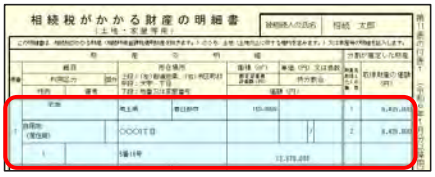


⇒指定した割合で未分割財産があん分されます。

2-6.小規模宅地の登録(1)

小規模宅地等についての特例の適用を受ける場合、以下の手順で登録をして下さい。

①「第11表の付表1」画面で、該当財産をダブルクリックして下さい。



⇒「財産の変更」画面が表示されます。

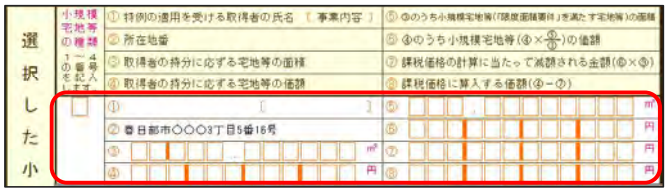
②「財産の明細」タブ－【小規模宅地等の特例】をクリックしてチェックを付けて、【確定】をクリックして下さい。

※ 以下の設定の場合［小規模宅地等の特例］が表示されます。
種類 ：土地
細目 ：宅地　又は　その他の土地

［「第11・11の2表の付表1（別表1）」を作成します。］をクリックしてチェックを付けると、「第11・11の2表の付表1（別表1）」が作成されます。その場合、【参照】ボタンをクリックして［相続開始直前利用区分］も選択して下さい。

2-6.小規模宅地の登録(2)

③「第11・11の2表の付表1」を表示し［2 小規模宅地等の明細］に表示されている該当資産をダブルクリックして下さい。



⇒［小規模宅地等の設定］画面が表示されます。

④【取得者の氏名】を選択し、各欄を設定し、【確定】クリックして下さい。

ここにマウスを持ってくると、スクロールバーが表示されます。スクロールバーを下に動かすと、2人目以降が登録可能。

⇒小規模宅地の特例が適用され、設定内容が第11表の付表1に反映されます。

2-6.小規模宅地の登録（Q＆A）

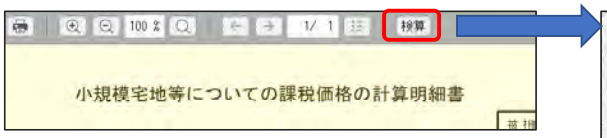
Q：小規模宅地等の特例の適用を受ける土地で、一筆の土地ではあるが、相続開始直前利用区分が「居住用」と「事業用」などのように複数に分かれている場合はどのようにすればよいですか？

A：小規模宅地等の特例の入力を行う際、相続開始直前利用区分が複数の区分に分かれる場合、「第11表の付表1」でそれぞれの区分に相当する面積で按分して財産を分けて登録して下さい。

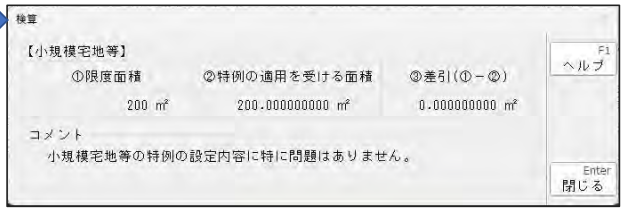
■【検算】ボタン

第11・11の2表の付表1に入力した数値を検算することができます。

①「第11・11の2表の付表1 」画面で【検算】をクリックして下さい。



⇒検算結果が表示されます。



2-7.分割案の作成(1)

■ 分割案とは

現在作成中の内容を分割案として保存することができます。

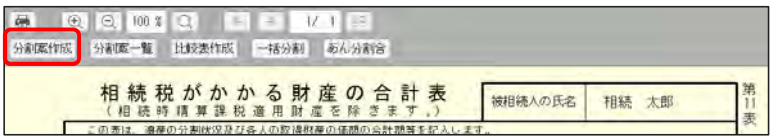
分割案は20案まで作成できます。

2つの分割案を比較して、申告納税額、課税価格の差額を確認することができます。

2-7.分割案の作成(2)

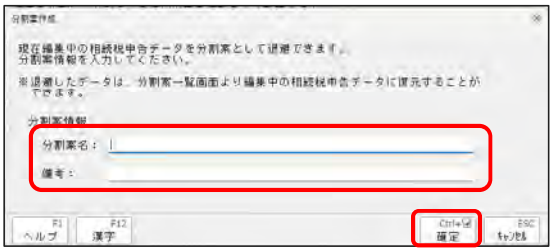
■分割案の作成

①「第11表」画面で、【分割案作成】をクリックして下さい。



⇒「分割案作成」画面が表示されます。

②「分割案名」を入力し、【確定】をクリックして下さい。



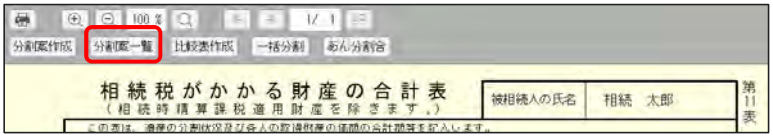
③【OK】をクリックして下さい。

⇒現在作成中の内容が分割案として保存されます。

2-7.分割案の作成(3)

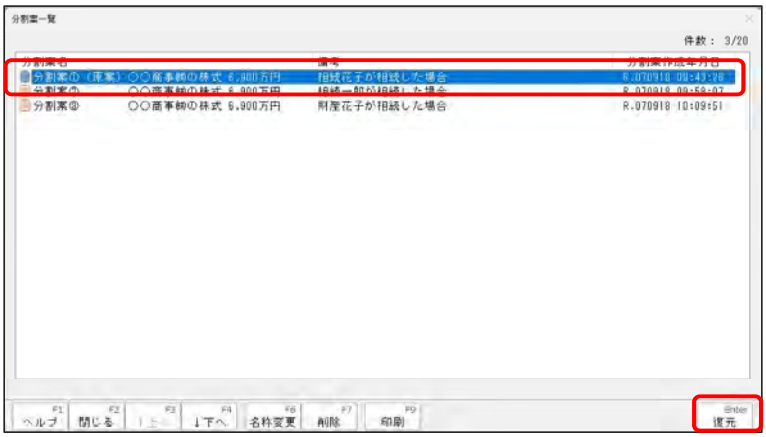
■分割案の復元

①「第11表」画面で、【分割案一覧】をクリックして下さい。

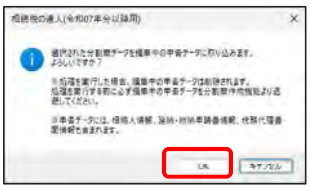


⇒「分割案一覧」画面が表示されます。

②復元する「分割案」をクリックし、【復元】をクリックして下さい。



③【OK】をクリックして下さい。



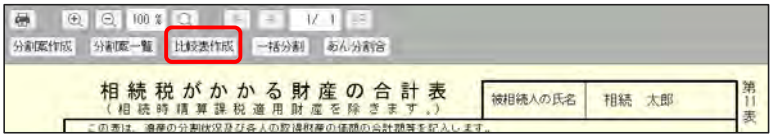
④【OK】をクリックして下さい。

⇒復元した分割案の内容が表示されます。

2-7.分割案の作成(4)

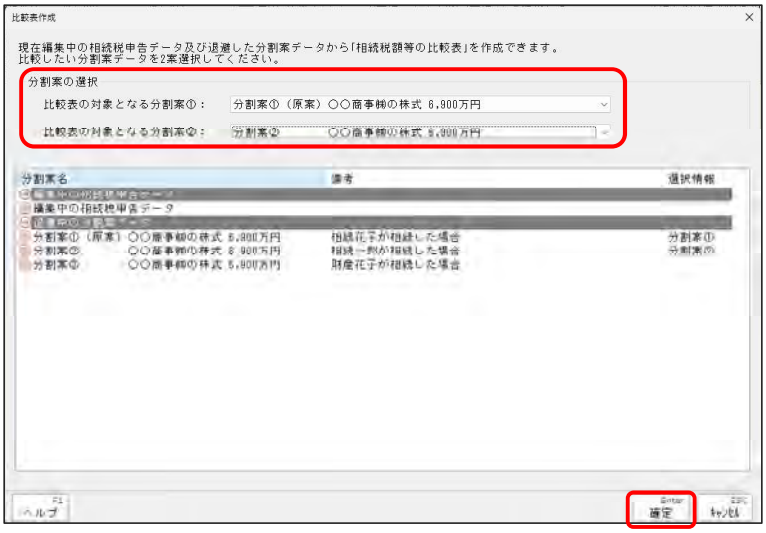
■分割案の比較

①「第11表」画面で、【比較表作成】をクリックして下さい。



⇒「比較表作成」画面が表示されます。

②比較する「分割案」を選択し、【確定】をクリックして下さい。

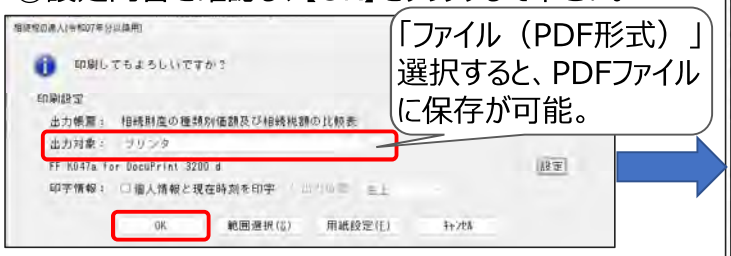


2-7.分割案の作成(5)

⇒「比較表の確認」画面が表示され、申告納税額、課税価格の差額が表示されます。
③詳細を確認するには、【印刷】をクリックして下さい。

⇒「相続財産の種類別価額及び相続税額の比較表」が印刷またはPDFファイルに保存されます。

④設定内容を確認し、【OK】をクリックして下さい。



「ファイル（PDF形式）」選択すると、PDFファイルに保存が可能。

2-8.第11表の付表（Q&A）

Q：［数量］［単価］の小数点以下が0の場合、画面上に表示させないことはできますか？（第11表の付表）

■「第11表の付表」画面

小数点以下は表示されます。

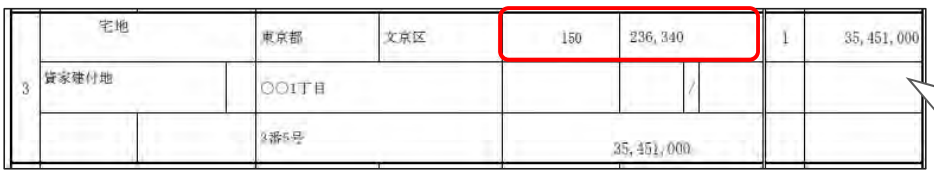
A：画面上では小数点以下が表示されます。小数点以下を非表示にすることはできません。

［数量］：整数9桁、小数4桁

［単価］：整数9桁、小数2桁

なお、印刷した帳票には小数点以下が0の場合、印字しません。

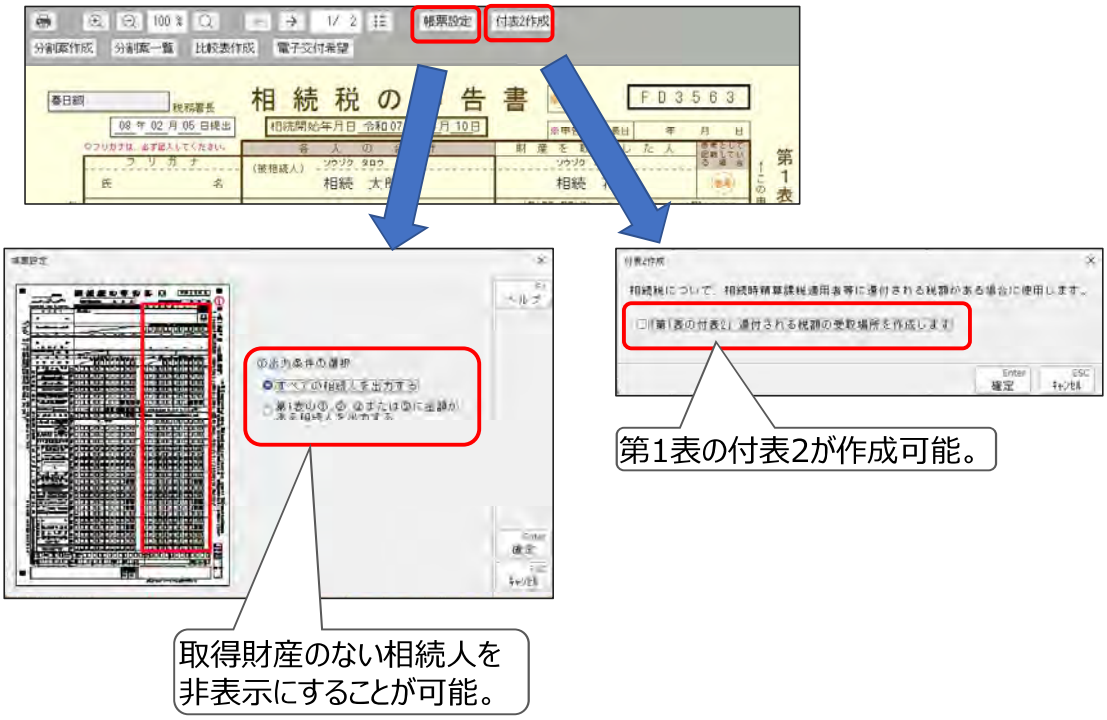
■印刷イメージ



小数点以下が0の場合、印刷すると小数点以下は表示されません。

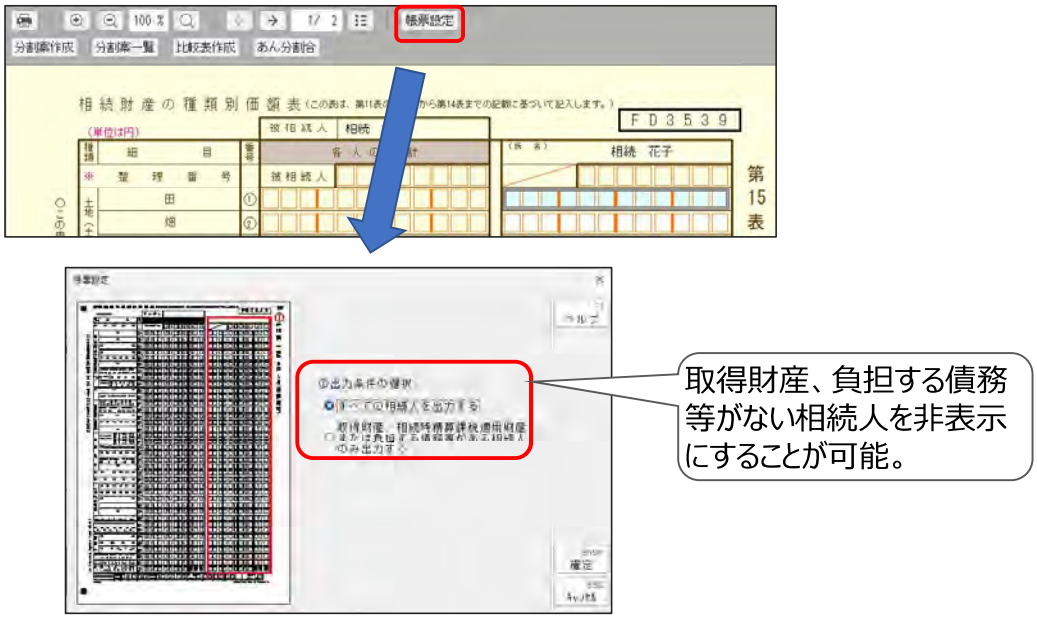
2-8.申告書その他（第1表）

第1表:【帳票設定】より帳票の表示の設定、【付表2作成】より付表2の作成が可能です。



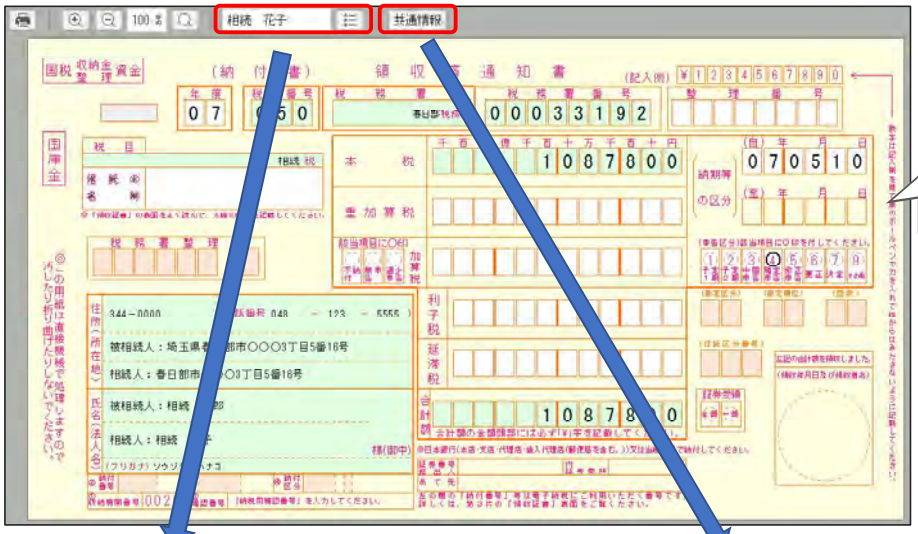
2-8.申告書その他（第15表）

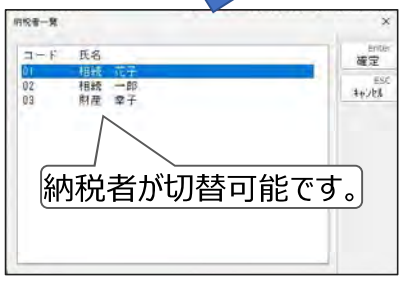
第15表:【帳票設定】より帳票の表示の設定が可能です。

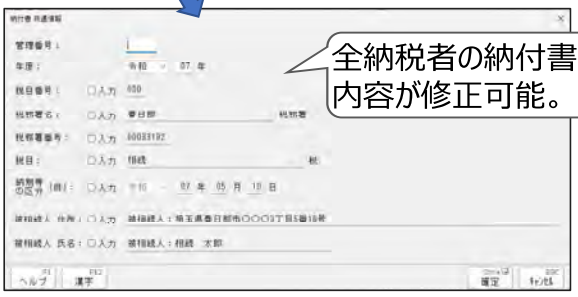


2-9.納付書

①【納付書の作成】をクリックして下さい。





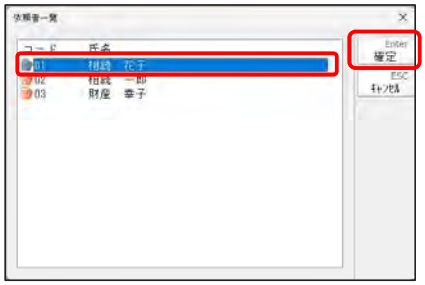


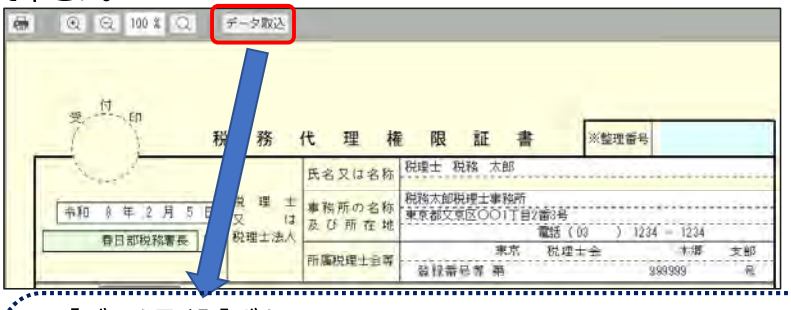
2-10.税務代理権限証書

各納税者の税務代理権限証書が作成できます。

①【税務代理書面の作成】をクリックして下さい。
②納税者を選択し、【確定】をクリックして下さい。

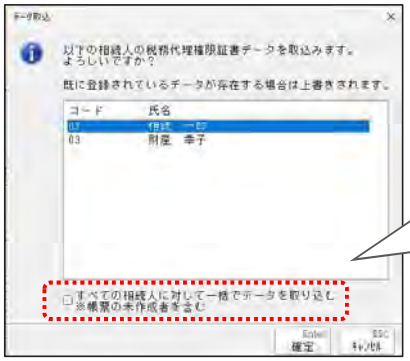
⇒選択した帳票が表示されます。





③作成する帳票にチェックを付けて、【確定】をクリックして下さい。

■【データ取込】ボタン
他の納税者の税務代理権限証書のデータが取込可能です。



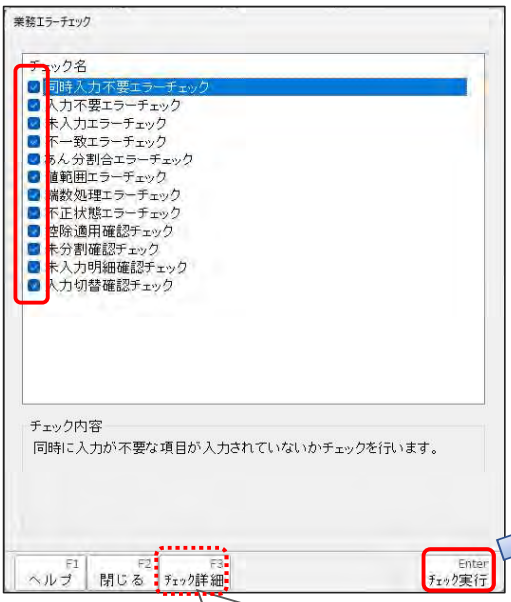
チェックを付けると、すべての相続人に対して、一括で税務代理権限証書のデータが取込可能です。

2-11.業務エラーチェック

作成した帳票に不備や誤りがないかをチェックし、結果をPDFファイルで出力できます。

①【業務メニュー】⇒【業務エラーチェック】をクリックして下さい。

②エラーチェックを行う項目にチェックをつけて、【チェック実行】をクリックして下さい。



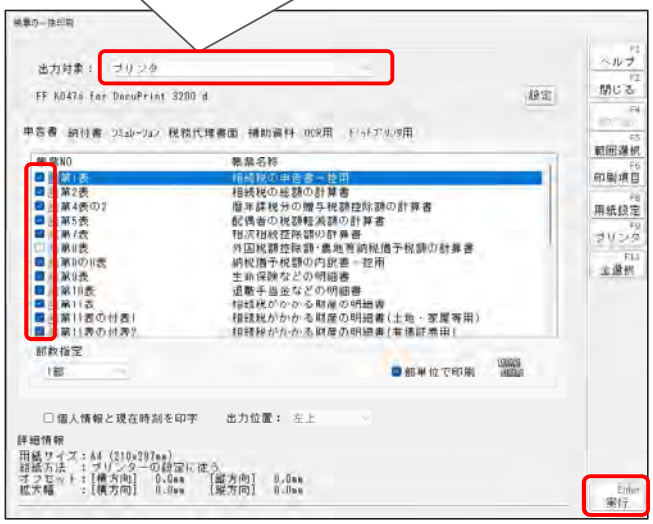
チェック項目の詳細な内容が確認できます。

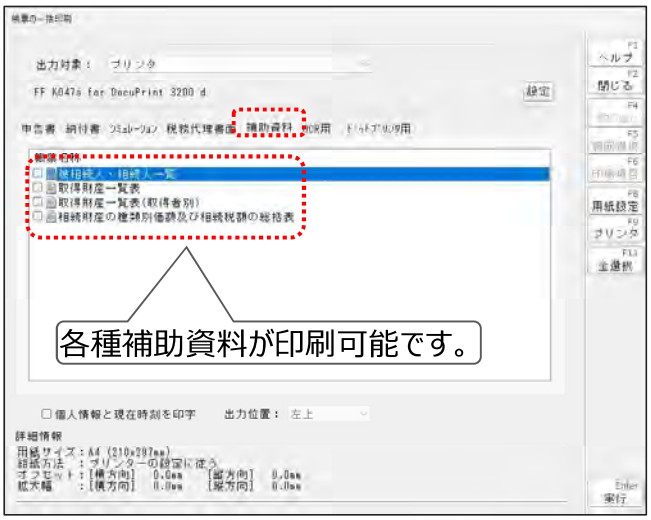
⇒業務エラーチェックの結果が表示されます。

2-12.一括印刷

帳票の一括印刷は、作成した帳票を一括で印刷することができます。
印刷したい帳票にチェックをつけて【実行】ボタンをクリックすると、チェックをつけた帳票が印刷されます。

印刷される情報をＰＤＦファイルで出力したい場合は、【出力対象】を「ファイル（ＰＤＦ形式）」に変更して下さい。印刷と同じ様式でデータファイルとして保存できます。





2-12.一括印刷（補助資料）

■被相続人・相続人一覧

被 相 続 人 ・ 相 続 人 一 覧

1／ 1ページ

【 被相続人情報 】

個人コード　SZ000001　　相続開始日　令和 7年 5月 10日　　申告区分　確定

被相続人氏名　ソウゾク タロウ　相続 太郎　　生年月日　昭和 24年 10月 19日　　住所　埼玉県春日部市 ○○○3丁目5番16号

年齢　75歳　　職業　○○商事(株) 代表取締役

【 相続人情報 】

相続人コード	01	02	03		
相続人氏名	ソウゾク ハナコ 相続 花子	ソウゾク イチロウ 相続 一郎	ザイサン サチコ 財産 幸子		
生年月日	昭和 31年 9月 21日	昭和 59年 3月 24日	昭和 61年 2月 14日		
年齢	68歳	41歳	39歳		
性別	女性	男性	女性		
続柄	妻	長男	長女		
取得原因	相続	相続 ／ 相続時精算課税	相続		
職業	なし	○○商事（株） 取締役	なし		
郵便番号	344-0000	344-0000	272-0000		
住所	春日部市○○○3丁目5番16号	春日部市○○○3丁目5番16号	市川市○○○6丁目3番1号		
電話番号	048-123-5555	048-123-5555	047-111-2229		
法定相続人	該当する	該当する	該当する		
法定相続分	1 ／ 2	1 ／ 4	1 ／ 4		
民法上の相続割合	1 ／ 2	1 ／ 4	1 ／ 4		
相続放棄	しない	しない	しない		
配偶者税額軽減の適用	受ける	受けない	受けない		
２割加算の適用	該当しない	該当しない	該当しない		
未成年者控除の適用	該当しない	該当しない	該当しない		
障害者控除の適用	該当しない	該当しない	該当しない		
納税猶予の適用					
延納申請	しない	しない	しない		
物納申請	しない	しない	しない		

2-12.一括印刷（補助資料）

■取得財産一覧表

取 得 財 産 一 覧 表

被相続人氏名　相続 太郎

1／ 4ページ

財産コード	種 類	細 目	利用区分・銘柄等	所 在 場 所 等	価 額	相続 花子	相続 一郎	財産 幸子			
【取得財産】											
0001	土地	宅地	自用地 （貸住用）	埼玉県春日部市○○○3丁目5番16号	(12,870,000) 64,350,000	(6,435,000) 32,175,000	(6,435,000) 32,175,000				
0002	土地	宅地	貸家建付地	埼玉県春日部市○○○3丁目5番17号	(30,810,000) 46,215,000	(30,810,000) 46,215,000					
0002 - 02	土地	宅地	貸家建付地	東京都文京区○○1丁目3番5号	35,451,000	35,451,000					
0003	土地	宅地	自用地 （未利用）	埼玉県春日部市○○○2丁目3番4号	42,000,000	28,000,000		14,000,000			
0004	土地	宅地	貸家建付地	埼玉県春日部市○○1丁目1番	10,272,960			10,272,960			
0005	土地	山林	普通山林	東京都○○郡○○町○○10番2	3,617,100		3,617,100				
	（小 計）				(201,906,060)	(141,841,000)	(35,792,100)	(24,272,960)			
0006	家屋等	家屋	自用家屋 （鉄コ2・居宅）	埼玉県春日部市○○○3丁目5番16号	3,874,960	3,874,960					
0007	家屋等	家屋	貸家 （鉄コ2・店舗）	埼玉県春日部市○○○3丁目5番17号	2,372,489	2,372,489					
0008	家屋等	家屋	貸家 （鉄コ3・店舗）	東京都文京区○○1丁目3番5号	5,983,601	5,983,601					
0031	家屋等	家屋	貸家 （鉄コ10・居宅）	埼玉県春日部市○○1丁目1番（101号室）	10,326,640			10,326,640			
	（小 計）				(22,559,690)	(12,231,050)		(10,326,640)			
0009	有価証券	特定同族株式（配当還元）	（株）○○	春日部市○○3丁目×番×号	50,000	50,000					
0010	有価証券	特定同族株式（その他）	○○商事（株）	文京区○○1丁目3番5号	69,000,000	69,000,000					
0011	有価証券	その他の株式	○○建設（株）	△△証券 春日部支店	7,830,000	7,830,000					
0012	有価証券	その他の株式	○○石油（株）	△△証券 春日部支店	3,595,000		3,595,000				
0013	有価証券	その他の株式	○○電鉄（株）	△△証券 春日部支店	5,560,000		5,560,000				
0014	有価証券	その他の株式	○○Company Inc.	△△証券 春日部支店	（為替 150） 14,100,000			14,100,000			
0015	有価証券	公債	10年利付国債 第×××回	△△証券 春日部支店	3,158,700			3,158,700			

2-12.一括印刷（補助資料）

■取得財産一覧表(取得者別)

取得財産一覧表

1／3ページ

被相続人氏名：相続　太郎　　取得者　相続　花子

財産コード	種類	細目	利用区分・銘柄等	所在場所等	取得金額
【取得財産】					
0001	土地	宅地	自用地 （居住用）	埼玉県春日部市○○○3丁目5番16号	(6,435,000) 32,175,000
0002	土地	宅地	貸家建付地	埼玉県春日部市○○○3丁目5番17号	(30,810,000) 46,215,000
0002－02	土地	宅地	貸家建付地	東京都文京区○○1丁目3番5号	35,451,000
0003	土地	宅地	自用地 （未利用）	埼玉県春日部市○○○2丁目3番4号	28,000,000
	（小計）				(141,841,000)
0006	家屋等	家屋	自用家屋 （鉄コ2・居宅）	埼玉県春日部市○○○3丁目5番16号	3,874,960
0007	家屋等	家屋	貸家 （鉄コ2・店舗）	埼玉県春日部市○○○3丁目5番17号	2,372,489
0008	家屋等	家屋	貸家 （鉄コ3・店舗）	東京都文京区○○1丁目3番5号	5,983,601
	（小計）				(12,231,050)

2-12.一括印刷（補助資料）

■相続税額等の総括表

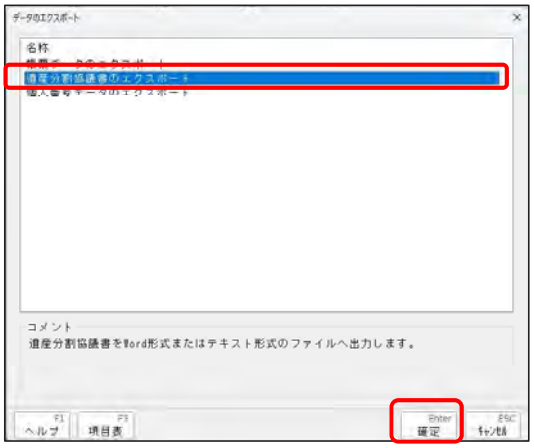
相続財産の種類別価額及び相続税額の総括表

1／2ページ

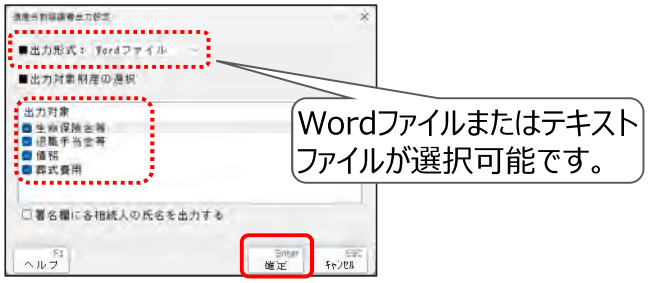
		各人の合計	財産を取得した人				
氏名		相続　太郎	相続　花子	相続　祐	財産　幸子		
課税価格の計算	取得財産の価額	498,392,161	356,646,350	129,067,118	112,678,683		
	相続時精算課税適用財産の価額	24,626,035		24,626,035			
	債務及び葬式費用の金額	27,415,940	3,359,600	24,056,340			
	純資産価額	495,602,246	353,286,750	129,636,813	112,678,683		
	純資産価額に加算される暦年課税分の贈与財産価額	3,000,000	1,000,000		2,000,000		
	課税価格	498,600,000	354,286,000	129,636,000	114,678,000		
各人の算出税額の計算	法定相続人の数及び遺産に係る基礎控除額	3人 48,000,000					
	相続税の総額	130,505,000					
	あん分割合	1.00	0.51	0.26	0.23		
	算出税額	130,505,000	66,557,550	33,931,300	30,016,150		
	相続税額の2割加算が行われる場合の加算金額						
各人の税額控除額	暦年課税分の贈与税額控除額	90,000			90,000		
	配偶者の税額軽減額	65,252,500	65,252,500				
	未成年者控除額						

2-13.遺産分割協議書

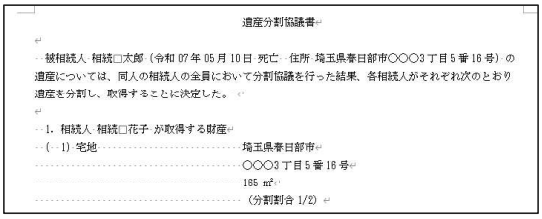
①【データのエクスポート】をクリックして下さい。
②【遺産分割協議書のエクスポート】をクリックし、【確定】をクリックして下さい。



③出力形式を選択し、出力対象財産にチェックを付けて、【確定】をクリックして下さい。



⇒遺産分割協議書のファイルがエクスポートされます。


遺産分割協議書

被相続人 相続□太郎（令和 07 年 05 月 10 日 死亡 住所 埼玉県春日部市○○○3 丁目 5 番 16 号）の遺産については、同人の相続人の全員において分割協議を行った結果、各相続人がそれぞれ次のとおり遺産を分割し、取得することに決定した。

1. 相続人 相続□花子 が取得する財産
（1）宅地 …… 埼玉県春日部市
○○○3 丁目 5 番 16 号
185 ㎡
（分割割合 1/2）

2-14.修正申告書／更正の請求書の作成方法

【前申告区分データの複写】機能を利用して、確定申告で利用したデータから修正／更正データを作成します。

※令和6年分より、相続税の達人で作成した更正の請求書が電子申告できるようになりました。
※令和5年分以前の相続税の更正の請求書は、申請・届出書の達人で作成してから電子申告して下さい。

令和7年 **確定**

↓ 前申告区分データの複写

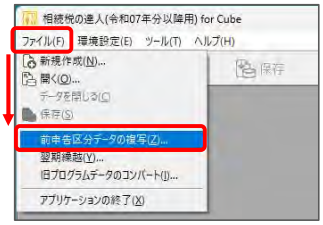
令和7年 **修正／更正**

確定申告データはそのままで、修正／更正データが追加作成されます。

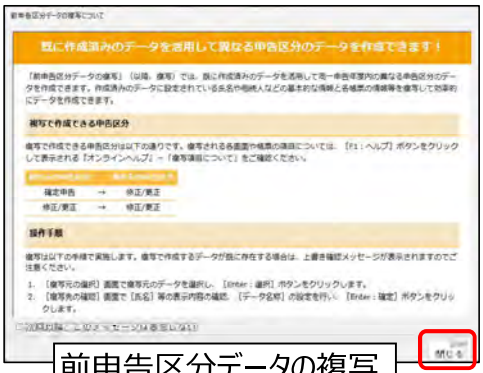
※修正申告書、更正の請求書は、電子申告可能です。

2-14.修正申告書／更正の請求書の作成方法

①【ファイル】⇒【前申告区分データの複写】の順にクリックして下さい。

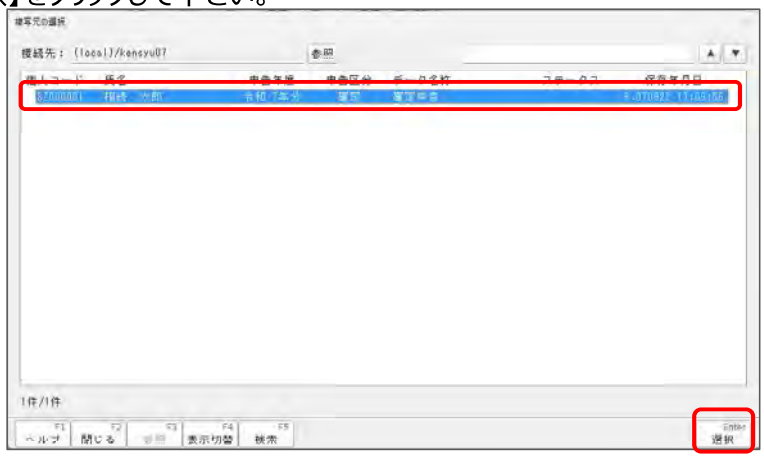


②【閉じる】をクリックして下さい。

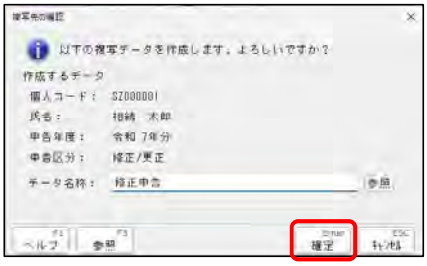


前申告区分データの複写の説明の画面です。

③修正／更正データを作成する確定申告データを選択し、【選択】をクリックして下さい。



④【確定】をクリックして下さい。



確認の画面です。

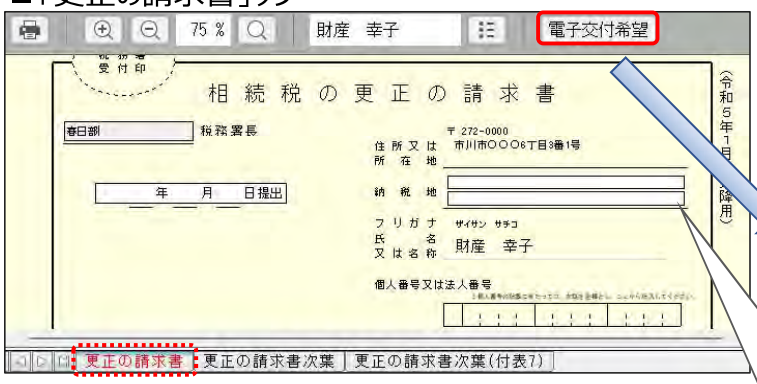
⇒修正／更正データが作成されます。

⇒【申告書の作成】より、修正事項を入力し、修正申告書を作成して下さい。

2-14.更正の請求書の作成方法

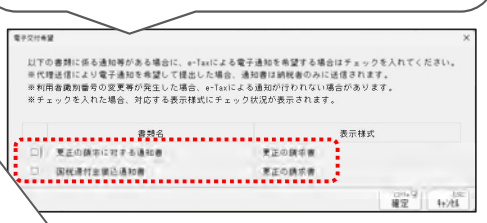
【業務メニュー】⇒【更正の請求書の作成】を選択すると、更正の請求書が表示されます。

■「更正の請求書」タブ

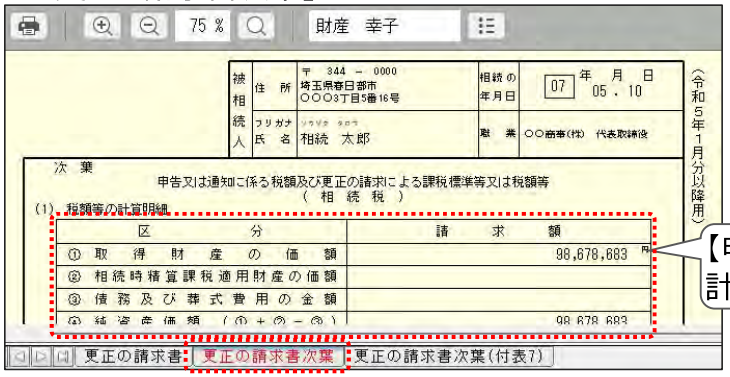


更正の請求書に係る通知書を電子で受け取るか否かの設定です。

電子通知を希望する（チェックを付ける）と、納税者のマイナンバーカードがないと通知書が確認できなくなります。



■「更正の請求書次葉」タブ



白抜き部分は手入力で作成して下さい。

【申告書の作成】より入力、計算した金額が連動します。